

学び舎通信

職場体験、実りの多い2日間となりました！

10月12日（木）、13日（金）の2日間、職場体験が行われました。86あるすべての事業所を私が回れたわけではありませんが、活動の様子をお聞きした事業所では、どの事業所でも「意欲的に活動しています」というお言葉をいただきました。

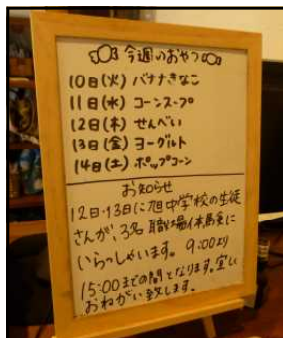
学年の先生たちからもみなさんの頑張りの様子を伝え聞きました。先生たちが撮ってきた写真を見ても、みなさんの活動の様子が目に浮かんできます。きっと充実した2日間となったことでしょう。

学年の掲示板や中学校のホームページ（<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>）でも、みなさんの活動の様子が伝わってきます。掲示板前に立ち止まって写真を眺めている人もよく見かけます。ホームページもじっくり見てください。

パナソニック創業者の松下幸之助は、仕事について次のように話しています。

『たとえ3日間の手伝い仕事であっても、その仕事に一生のような心構えで真剣に立ち向かうならば、そこから必ず大きなものを得ることができる』と。

2日間の職場体験で学んだことは、みなさんが作成したはがき新聞からも感じました。あたたかくみなさんを迎えてくださった事業所の方々への感謝を胸に、2日間の体験を通して学んだことをこれからの自分自身に生かしてもらえたらと思います。



モリコロパークでの駅伝大会で好走の女子、県大会へ

10月28日（土）、モリコロパークで愛日駅伝大会が開かれました。小雨が降る決して良いとは言えないコンディションの中、1走でA組の二村菜津乃さんが、4走でI組の荒川渚津紀さんが出場しました。

過去に愛日駅伝大会を見た経験から、1年生なので緊張で力が出し切れないんじゃないかな、と心配していました。そんな心配を吹き飛ばす激走でのチーム5位入賞。一緒に出走した先輩部員と力を合わせた結果です。すばらしい！

出走した二人に話を聞くと、力強い言葉で語ってくれました。

『緊張したけど、前を走る人についていこうと頑張った』『試走会の時より距離が1キロ短くて楽しかった。』

学生時代、私はあと1セットを取ることができれば…というところでそのセットを落としてしまい、つかみかけた勝利を手放してしまった経験があります。そんな私からすれば、うらやましい限りの言葉でした。来年度、再来年度も駅伝部員として、他の部員をひっぱっていく活躍をしてくれそうな予感がします。男女ともに二人に続く人たちが出てきてくれたらうれしいです。

県大会は11月18日（土）、新城市で開かれます。体調を万全に整え、力走してくれることを期待しています。



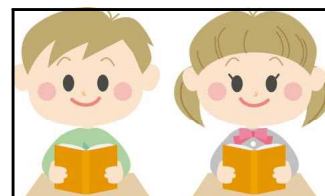
読書の秋に本を読もう！

10月27日から11月9日にかけて、全国で読書週間が開催されています。今年で71回目を迎えます。始まりは戦争の傷跡がまだ色濃く残っていたころのことでした。「読書の力で、平和な文化国家を作ろう」という決意の声を受け、出版社、書店、新聞社、放送会社がスクラムを組んだのです。

私の趣味は旅行と読書で、本はよく読む方だと思います。絵本を読んだ後、しばらくマンガしか読まない期間がありましたが、高校生になると夏目漱石の『こころ』から読み始め、多くの本を手にとって読むことができました。読んだ本の中には、自分の知らなかった世界がたくさんつまっていて、本の舞台となっている土地を訪れたり、生きていく上で心を揺さぶられる経験をしたりしてきました。

みなさんも本の世界に触れ、自分の人生の一冊との出会いを試みませんか。

先生方にお勧めの本を聞いてみました。みなさんと本との出会いの参考にしてください。
(文責：水野千広)



- ・岡田先生より……マイケル・J・フォックス／著、入江真佐子／訳『ラッキーマン』（ソフトバンク文庫）
- ・加藤先生より……松原 始／著『カラスの教科書』（講談社文庫）
- ・坂梨先生より……辻 秀一／著『スラムダンク勝利学』（集英社インターナショナル）
- ・田村先生より……重松 清／著『青い鳥』（新潮文庫）
- ・光成先生より……時雨沢恵一／著、黒星紅白／イラスト『キノの旅』（電撃文庫）
- ・大嶋先生より……百田尚樹／著『永遠の0』（講談社文庫）
- ・松塚先生より……船井幸雄／著『13歳からのシンプルな生き方哲学』（マガジンハウス文庫）
- ・彦田先生より……『くもんの中学英文法—中学1～3年 基礎から受験まで』（くもん出版）
- ・桑山先生より……村上春樹／著『ねじまき鳥クロニクル』（新潮文庫）
- ・五百蔵先生より……リンダブックス編集部／編『99のなみだ』シリーズ（泰文堂）
- ・小寺先生より……小出義雄／著『君ならできる』（幻冬舎）
- ・谷口先生より……中村 元／著『恋人はイルカ ドルフィントレーナーにあこがれて』（マイクロマガジン社）
- ・森先生より……太宰 治／著『女生徒』（角川文庫）
- ・事務の古市さんより……相沢沙呼／著『雨の降る日は学校に行かない』（集英社文庫）
- ・最後に私より……仲山進也／著『今いるメンバーで「大金星」を挙げるチームの法則—『ジャイアントキリング』の流儀』（講談社）

※ 興味をもった本があれば、学校の図書室や市の図書館で探してみてください。

文化発表会 午前の部：クラス合唱に向けて

先日、学年リハーサルで全クラスの歌声を聴く機会がありました。他のクラスの合唱を聴いたみなさんには、どう映ったでしょうか。自分のクラスの合唱との違いは感じましたか。

順位を決めて歌うものではありませんが、会場中に歌声を響かせてほしいと思います。

歌うにあたって、「恥ずかしい」「間違えると笑われる」「目立ちたくない」……そんなマイナスな気持ちを吹きとばした歌声を楽しみにしています。一生懸命に歌う姿は、人にも伝わります。そんな姿の人を多く見たいですし、その姿を笑う人は恥ずかしいことです。

体育祭のとき、一生懸命走っている姿を見たとき、例え転んだり、前から離されてしまっていることがあっても笑う人はいませんよね。精一杯頑張る姿勢は美しいです。

みなさんの多くは、まだ全力ではないと感じます。もっと声は出せます。自分たちの歌声で感動を味わってください。リハーサルよりもパワーアップした歌声が聴けることを期待しています。

